

Q.質問 今後の情報アクセシビリティの考え方について、本市としてどう考えるか？

A.答弁 ▶ 豊田市は、障害の有無、国籍、年齢等を問わず、誰もが安心して自分らしく生きられる地域共生社会の実現を目指している。

▶ そのためには、互いを認め合う相互理解及び円滑な意思疎通を通じて一人一人が地域社会とつながり、全ての人が様々な場面・状況下においても情報を入手・利用・意思疎通ができるように、時代に即したICT機器等の効果的な活用を通して情報アクセシビリティを高めていくことが重要であると考えている。

時代にあったICT機器などを活用しながら効果のある情報アクセシビリティの取組を進めることで、我々障がいのある当事者だけではなく高齢者、外国人など多様な市民にとって利便性の向上につながると考えます。

誰も取り残されない共生社会の実現を目指し、デジタル技術を活用した情報アクセシビリティの充実を、全市的な取組として進めていただくことをお願いしたい。



中島りゅうじの要望・意見

会派討論

反対

情報開示請求に係る請求手数料等導入に関する改正条例

少数の請求者に対し、多くのコストを負担している状況から、受益と負担の公平を確保するために開示請求にかかる手数料を導入するという理由ですが、請求手数料の導入や従前から徴収している写しの交付に要する実費に加えて更なる開示手数料を徴収することは市民の知る権利及び

市政の透明性を後退させる危惧があると考えます。また、知る権利を行使することは請求者個人の受益ではなく、市政全体の向上につながり、市民全体の受益となりうると考えます。以上のことから、反対します。

反対

市長や市議会議員等のボーナスの引き上げに関する改正条例

議員の報酬や特別職職員の給料については、民間の平均の待遇に比べると高額であり、さらなる引き上げの必要性については、電気代や物価の高騰が続いている中、物価変動を反映した実質賃金が7ヵ月連続で減少しており、今の情勢では適応と言いつても難しいため、市民の感覚にしてみれば、理解できるものではないと考えます。また、今回の定例会に

上程された情報開示請求に係る手数料の導入や水道料金の引き上げなどの見直しにより、さらなる市民の負担をお願いする状況では、まず、議員自らが身を切る覚悟で市民の方をお願いする姿勢を示すべきであると考えます。以上のことから、反対します。

12月定例会における主な議案等に対する各会派の賛否状況

議案等の内容	会派等名						議決結果
	こころ中島議員	共産党	市民の会	公明党	市民フォ	自民ク	
情報開示請求に係る請求手数料等導入	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	可決
市長や市議会議員等のボーナスの引き上げ	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	可決
水道料金の引き上げ	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	可決
出産・子育て応援に関する給付金などに関する補正予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	可決
選択的夫婦別姓制度の導入などの意見書を採択することを求める請願書	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	不採択

※議案等の内容は正式な名称ではなく、分かりやすく表現しています。

※各会派の正式名称

こころ 心が聴こえる市政の会(諸派)

共産党 日本共産党豊田市議団(諸派)

市民の会 とよた市民の会(諸派)

公明党 公明党豊田市議団

市民フォ 豊田市議会市民フォーラム

自民ク 豊田市議会自民クラブ議員団

昨年11月に娘が生まれました！子育て奮闘中です。



中島りゅうじ 後援会事務所 〒473-0924 豊田市花園町小泉82番地1

TEL 050-3605-1360

(電話リレーサービスを通して電話できます)

FAX 0565-53-1499

LINE ID @yxy4744d

E-mail nakajimaryuji@outlook.com

face book fb.com/toyota.nakajima.ryuji

H.P https://nakajima-ryuji.com/

Instagram instagram.com/nakajima_ryuji_toyota/

